

長門市木育推進基本計画

平成 29 年(2017 年) 7月

長 門 市

目 次

I	策定の趣旨	・ ・ ・	1
II	「木育」に取り組む背景（現状・課題）		
1	人口問題	・ ・ ・	1～2
2	林業・木材産業の状況	・ ・ ・	2～3
III	目指す方向性		
1	木育を核とした子育て世代に選ばれるまちづくり	・ ・ ・	3
2	持続可能性の確保	・ ・ ・	3～4
IV	具体的な取組		
1	木育推進の中核づくり	・ ・ ・	4
2	ウッドスタート宣言	・ ・ ・	5
3	ウッドスタートを契機とした主な取組	・ ・ ・	6～7
4	木育推進の拠点整備	・ ・ ・	7～8
V	主なスケジュール	・ ・ ・	9
VI	木育推進の主な関係者	・ ・ ・	10
VII	木育関係団体の活動状況（木育マッピング）	・ ・ ・	11

I 策定の趣旨

「^{もくいく}木育」に取り組む背景、目指す方向性、具体的な取組、スケジュール等について明確化し、関係機関・団体等の幅広い関係者との連携、協働のもとに、「林業・木材産業の発展」や「子育て世代に選ばれるまちづくり」に向けた取組を推進します。

「^{もくいく}木育」とは

平成 16 年に北海道で生まれ、平成 18 年に「森林・林業基本計画」の中で閣議決定された言葉

＜5つの取組（5つの頭文字：木育「か・き・く・け・こ」）＞

- ①森林や環境を大切にしながら木を使うことと「環境を守る」ことがつながっていることを理解すること
- ②木を利用してものを作ることで「木」の文化を伝えていく」こと
- ③木のもつ心地よさを五感で感じてもらい「暮らしに木を取り入れていく」こと
- ④林産業を元気にさせ里山を中心とした「地域の経済を活性化させる」こと
- ⑤子どもが育つ環境に木を取り入れ、「子」どもの心を豊かにする」こと

II 「木育」に取り組む背景（現状・課題）

1 人口問題 ＜「長門市まち・ひと・しごと創生総合戦略（H27 年 10 月策定）」等より＞

（1）現状

- 総人口は 10 年前に比べ、約 14%減少しています。
- 何も対策を講じない場合、今後 20 年間で、さらに 30%程度減少（生産年齢人口は約 35%減少）する可能性があります。
- 5 年先には、老年人口も減少に転じ、加速度的な人口減少社会の到来が想定されます。
- 地元に残りたいという若者の希望に十分に応えられているとはいえません。
 - ・就職等の際し 65%は地元を選択肢に、専門科高校 3 年生の約 8 割が「長門が好き」→ 実際の地元就職率 37%

○女性就業率が 54%（全国 44%）と共働き世帯が多く、子どもを増やすためにも保育環境の更なる充実が必要です。

（２）課題

○人口の自然減に対応するため、出生数の増加対策等、人口構造の改善が必要です。

○人口の社会減に対応するため、地元に残りたいという若者の希望に応える等、域外流出の防止対策が必要です。

２ 林業・木材産業の状況

（１）現状

○林業で生計を立てる経営体は少ない状況です。

- ・林家数…1,412 戸
- ・林業経営体…94 経営体（うち法人 2 経営体）

○森林に関心を持つ所有者や山林作業を行う所有者は、高齢化の進行等に伴い、減少しています。

○戦後植林され、本格的な利用期を迎えている人工林等、豊富な森林資源が存在しています。

- ・人工林面積 13,379ha（人工林率 46%：全国 41%）
スギ 34%、ヒノキ 42%
- ・人工林蓄材量 5,710 千m³
スギ 57%、ヒノキ 31%
10 齢級（46～50 年生）以上の割合 54%

○長門エリアは全国でも稀な太くまっすぐなシイの木の群生地帯です。

○市有林の割合が全国平均の約 3 倍と高い状況です。

- ・林野面積 26,839ha（森林比率 75%）
 - 〔国有林 144ha（1%：全国 31%）
 - 〔民有林 26,695ha（99%：全国 69%）
 - └ 公有林 4,755ha（18%：全国 12%）
 - └ うち市有林 4,390ha（16%：全国 5%）
 - └ 私有林 21,938ha（82%：全国 58%）

○市有林（スギ、ヒノキ等）を活用し、学校、道の駅、市役所新庁舎等の公共施設における木造化、木質化を積極的に推進していますが、森林の約 8 割を占める私有林の活用は十分とは言えない状況です。

○森林活用の基礎データとなる地籍調査は、三隅地区と油谷地区で完了し、全体では64%の進捗です。

・進捗率64%（三隅100%、油谷100%、日置67%、長門23%）

（２）課題

○幼少期から森林や木に親しむ環境を整備し、森林や木材利用等に対する意識や理解を高める等の裾野を広げる取組が必要です。

○林業・木材産業の成長産業化に向け、森林資源を活用した「しごとづくり」や「ひとづくり」等につながる取組が必要です。

Ⅲ 目指す方向性

1 木育を核とした子育て世代に選ばれるまちづくり

（1）子育て環境の充実

○子育て関係者の木育に対する期待に応えるよう努めます。

・木に囲まれた環境で子育てをしたい。

・子ども（特に小さい頃）には、木のおもちゃで遊ばせたい。

（2）子育て世代に選ばれるまちへ

○子育て世代を中心に、木育に参画してネットワークを広げる人、暮らしに木を取り入れる人、長門のファンとなる人、長門に戻ってくる人、移住・定住を考える人等の増加につながるよう努めます。

2 持続可能性の確保

（1）しごとづくり

○森林や木に対する幅広い世代の関心を高め、森林を持続し、活用する取組を進めます。

○林業・木材産業の成長産業化に向けた取組と連携し、所得向上や雇用拡大を図ります。

○子育て支援関係者や民間事業者等と協働し、新たな雇用の場の創出に努めます。

（2）ひとづくり

○幅広い関係者の木育への参画を促進します。

○木育関係者と連携、協働した取組を進めます。

○林業・木材産業の担い手確保・育成・定着を支援します。

(3) 「ひと」「カネ」の取り込みに結び付く取組

- 人を活かし、木を活かすローカルブランディングの確立に努めます。
 - ・人材の確保・育成、外貨の獲得、地域循環型経済の確立
- 木育関係団体や民間事業者と協働した情報発信、木育プログラム等の提供に努めます。

IV 具体的な取組

1 木育推進の中核づくり

推進の中核となる者の確保・育成に努め、協働して木育を推進します。

(1) 特定非営利活動法人人と木（以下「人と木」という）

- 長門市内の林業、木材産業、木工、子育て支援、デザイン等の関係者が中心となって設立された団体です。
 - ・設立時期：平成28年5月20日
 - ・会員144（正会員51、賛助会員89、団体会員4）〈28年度〉

〔岩本 美枝 理事長から〕

「人と木」が設立して2年目に入りました。「木育」という言葉も市民の間で少しずつ浸透してきました。「木育」かきくけこを、一つ一つやっていくことで、長門市民が心身共に豊かになり、経済的に潤い、若い人の働く場が増えることを目指しています。

会員が多くなれば「木育」に関心・理解も深まります。今はまだ、大地に根を張るための準備期間です。地道な努力を会員みんなで一緒にすることで、いずれは大木に育つように、市民の皆様の支援をいただけるようにがんばっていきましょう。

市役所・子育て支援関係者・木材関係者など異業種で、様々な化学反応を起こして、未来を見据えた活動を推進していきたいものです。

(2) 地域おこし協力隊

- 木育担当の隊員を設置し、木育の活動強化に努めます。

〔岡 真由美 隊員から（平成29年5月1日着任）〕

「木育＝子供だけのもの」私がこれまで地域の方と接した中で最も強い傾向にあるイメージです。楽しみながら学ぶをコンセプトとし、各世代に合わせた内容のフィールドワーク等を取り入れ、正しい理解醸成を促進したいと考えます。

また、次の担い手である中高生をメインにボランティア参加を募り、木育参画の場を設けます。どんな切り口なら林業・木材産業に魅力を感じるか、課題は何か？社会の一員として意見交換をしてもらい、より主体的で「未来を感じる木育」に繋げる土壌を整えます。その先の橋渡しとして、市内就業や起業への関心喚起を目的に、市職員や民間企業、インフルエンサーを定期的にパネリストとして呼ぶなど「おもしろい人が更におもしろい人を呼ぶ」現象を生み出します。そのうねりが新たな可能性を切り開く呼び水となることでしょう。今後も皆様と連携しながら、木育チームの一員として活動に尽力して参ります。

2 ウッドスタート宣言

長門市、人と木、東京おもちゃ美術館（特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会）の三者で、長門市で木育に取り組むことを宣言し、木育の取組がスタートしました。（平成 28 年 11 月 22 日 於：ルネッサ長門）

ウッドスタート宣言

日本は、国土の約 3 分の 2 が森林に覆われている、世界第 3 位の森林大国です。また、太古の昔から木の文化を持ち合わせている国でもあります。

しかしながら、現在、木材の自給率は 30% 程度となっており、また、近年は森林、特に人工林の手入れ不足が問題化しています。

そこで、長門市と NPO 法人人と木と東京おもちゃ美術館は、「ウッドスタート」を推進することで、この豊かな自然や身近にある木と触れ合うことにより、豊かな子育て／子育て環境を整えるだけでなく、木の良さを知り、暮らしに木を取り入れることにより、国産材木製品の消費を増やし、そのことが日本の森を育て、守ることになるような循環型社会を構築することを目指します。

私たちは、ここに「ウッドスタート」を宣言し、暮らしの中に木を取り入れ、木の持つ可能性を最大限引き出し、それを子育て／子育てに生かす取り組みを、協力し合いながら進めていくことを誓います。



特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会

- ・日本グッド・トイ委員会、芸術教育研究所、高齢者アクティビティ開発センターが統合して設立（平成 29 年 4 月 21 日）
- ・所在地：新宿区四谷
- ・東京おもちゃ美術館を核に、全国で自治体や企業と連携し、木育を推進中

東京おもちゃ美術館

- ・旧四谷第四小学校校舎を利用し、木に溢れた空間を整備。木のおもちゃに触れて遊べる体験型ミュージアム（100 か国 15 万点の収蔵品）
- ・芸術と遊び創造協会（旧日本グッド・トイ委員会）が運営
- ・来館者：年間約 15 万人
- ・年間延べ約 7,000 人のボランティア（おもちゃ学芸員）との出会い、触れ合いも魅力



3 ウッドスタート宣言を契機とした主な取組

人と木を中核とし、東京おもちゃ美術館の助言・協力や地域おこし協力隊による支援など、市や関係者が連携、協働し、木育の取組を進めます。

(1) 誕生祝い品の贈呈

○生まれて初めて触れるおもちゃが「地元材を使用し、地元で製造した木のおもちゃ」となるよう、木のおもちゃの製作や新生児への贈呈を行います。

＜平成 28 年度の実績＞

- ・誕生祝い品第 1 回贈呈式：H28 年 11 月 22 日（於）ルネッサながと
- ・くじらをモチーフにシイの木で製作（H28…160 個）



(2) 木のおもちゃに触れ合う場の提供

○子どもや保護者を主な対象に、木への愛着が深まるよう、地元や全国から集めた木のおもちゃに触れ合い、楽しむ場を提供します。

＜平成 28 年度の実績＞

- ・「木育キャラバン」の実施

東京おもちゃ美術館と連携して実施する移動式おもちゃ美術館

第 1 回：平成 28 年 11 月 22 日～23 日（於）ルネッサながと

11 月 22 日…市内の園児等約 300 名

11 月 23 日…市内外から約 5,000 名

長門高校の生徒等 約 70 名のスタッフ、ボランティア



(3) 木育について語る場の創出

○関係者が集い、本市の木育について意見交換等を行う場を設けます。

〈これまでの取組実績〉

・「木育円卓会議」の開催

第1回：平成28年11月22日 於）ルネッサながと
メンバー10名

第2回：平成29年6月17日 於）ルネッサながと
メンバー11名



[H28 の会議の様子]

(4) 木材関連産業の産業基盤の下支え

○産業を起こす人材、支える人材の育成に努めます。

・地域しごと支援センター（仮称）等の活用
（林業、木造建築、木工、森林イベント、商品開発等）

○おもちゃ製造等を契機とした木工技術の伝承や木工事業の振興に努めます。

・市内事業者（工務店、建具店等）による木のおもちゃの製造、販売
・木工職人の育成（募集、技術・ノウハウの習得等）、定住支援

(5) 木育プログラムの開発、提供

○人と木、地域おこし協力隊、関係団体等と協働し、木育体験の提供に努めます。

・幼児・園児・児童向けプログラム、保育園や小学校等への出張木育
キャラバン、木工や森林を活用したワークショップ等

4 木育推進の拠点整備

長門の特性を生かした木育の取組をより一層進め、地域内外の子どもや若者に発信するとともに、公民協働、政策連携、地域連携の場ともなる拠点の整備を進めます。

(1) 木育推進拠点施設の整備

○設置場所及び設置時期

- ・道の駅登録を目指す仙崎地区交流拠点施設「センザキッチン」内に、木育推進拠点施設を設置し、平成30年4月のオープンを目指します。

○施設に必要な機能

- ・スギ、ヒノキ、シイの木など、地元材を活用し、地元材の特性を活かした木質空間で、木のおもちゃに触れて遊ぶことができること
- ・幼児から高齢者まで安心してゆったり楽しむことができること
- ・木育についての情報発信機能があること
- ・地元材を活用した商品の展示・販売機能があること
- ・海に面した立地を活かし、森－川－海のつながりを体験できること
- ・東京おもちゃ美術館の姉妹館となり、全国姉妹館との連携を図ることができること

○施設の設置及び管理運営

- ・本施設の設置は市が行い、管理運営は民間が行う「公設民営方式」とし、管理運営者は、センザキッチンの指定管理団体である「ながと物産合同会社」を通じ、木育推進の中核団体である人と木が行うことを想定しています。
- ・本施設は、休憩機能や子育て支援機能等の公共的な機能を持つと同時に、収益施設でもあることから、市は、人と木による自立運営に向け、市として行うことができる支援や役割の発揮に努めます。
- ・人と木は、市や東京おもちゃ美術館と連携し、本施設の管理運営を行う専任スタッフやボランティアの確保、育成に努めるとともに、青海島観光汽船株式会社との連携による木育船での木育プログラムの提供や、ホームページやSNS等を活用した効果的な情報発信等により、集客の確保に努めます。

(2) 木育推進に必要な施設等の整備

- 市は、民間事業者による木育推進に必要な施設等の整備に対する支援を行います。

V 主なスケジュール

内 容	H28	H29	H30	H31	H32	H33
【具体的な取組】 ・ ウッドスタート宣言 ・ 誕生祝い品の贈呈 ・ 木のおもちゃに触れ合う場 ・ 木育について語る場	宣言 ○					
		←	誕生祝い品の開発、製作、贈呈	→		
	木育キャラバン	←	→	(実施方法等検討)	→	
		←	木育円卓会議等の開催	→		
【木育推進の拠点整備】 ・ 拠点施設、関連施設等の整備 ・ オープン（H30年4月）		整備 ←	必要に応じて整備を検討 →			
			オープン ○	管理運営	→	
【人材の確保・育成】 ・ 特定非営利活動法人 人と木 拠点施設管理運営体制の整備 ・ 地域おこし協力隊 ・ 産業基盤を支える人材	設立 ○	会員・ネットワーク拡大、木育の取組実施	→			
		専任スタッフ、木育船長、運営ボランティア等育成	←	→		
	木育担当の設置	○	木育推進活動	→		
		←	技術・ノウハウ習得等のための研修等	→		
【木育体験の提供】 ・ 木育プログラム開発、実施		←	ワークショップ、イベント開催等	→		
【情報発信】 ・ 人と木による情報発信 ・ 東京おもちゃ美術館による情報発信	facebook ブログ 広報紙等 ○	HP 開設 ○	木育活動PR、拠点施設の集客確保等	→		
		長門専用 HP作成 ○	姉妹館としてのPR活動等	→		

VI 木育推進の主な関係者

○木育

特定非営利活動法人 人と木
東京おもちゃ美術館（特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会）
地域おこし協力隊（木育担当）

○林業・木材産業

山口県西部森林組合長門支部
ウッドネット西部やまぐち協同組合
市内工務店、建具店

○子育て・教育

公立保育園、幼稚園、幼児園
私立保育園、幼稚園
子育て支援センター
わいわいファミリーネットワーク
母子保健推進員
小学校、中学校、高等学校

○記念館・美術館・図書館

金子みすゞ記念館
香月泰男美術館
長門市図書館

○グループ

長門市どんぐり
長門さとやまの会
千畳里山の会
油谷林業研究グループ
三隅林業研究グループ
遊林クラブ
きつつき会
たけのこ村

○事業者

ながと物産合同会社
青海島観光汽船株式会社

長門市木育マッピング

保育園、幼稚園、幼児園

小学校、中学校、高等学校

長門市役所
5階建木造・RCハイブリッド庁舎
公共施設の木造、木質化

千畳里山の会
森林体験学習
千年の森整備etc...

油谷林業研究グループ
森林体験学習
千年の森整備etc...

NPO法人 人と木
誕生祝い品事業
木育キャラバンetc...

地域おこし協力隊
(木育担当)

長門市どんぐり
竹炭
林業女子会etc...

ながと物産合同会社

青海島観光汽船(株)

金子みすゞ記念館
詩れづくり

長門おもちゃ美術館
木育推進拠点施設
木育船

長門市図書館
木育WS

子育て支援センター

わいわいファミリー
ネットワーク

母子保健推進員

三隅林業研究グループ
森林体験学習
千年の森整備etc...

みすみ千年の森

遊林クラブ
木工WS
燻製教室etc...

きつつき会
夏休み木工教室
祭りでの木工体験

香月泰男美術館
木工WS

長門さとやまの会
森林体験学習
千年の森整備etc...

ウッドネット西部
やまぐち協同組合

工務店、建具店

長門市社会福祉協議会
たけのこ村
竹酢液・竹炭・竹細工

山口県西部森林組合
長門支部
森林経営、木工体験etc...

ながと千年の森

へき千年の森

ゆや千年の森

三隅いこいの森